

高知県

市指定無形民俗文化財

おど さし踊り

秋山さし踊り保存会

[出演者]

川沢美寿子 (踊り)	小野 八重 (踊り)	川沢美佐子 (踊り)	橋本 章由 (太鼓)
橋本かず子 (踊り)	森 光紀 (踊り)	川島 桂子 (踊り)	
橋本五十鈴 (踊り)	森 満子 (踊り)	森 優子 (踊り)	
伊野部ゆり (踊り)	森岡 幸子 (踊り)	吉本 律 (踊り)	
小島 征子 (踊り)	川沢 慶子 (踊り)	森岡 美鈴 (踊り)	

[行う時期・場所]

10月31日～11月3日
春野町文化祭
(高知県高知市春野町)

藩政時代から秋山地区に伝わる踊りで、農民たちが豊作を祝い、神に感謝して踊ったものと言われ「豊年踊り」とも言われています。藩政時代には、山内藩主にもお目にかけられたこともあると伝えられています。踊りは、源平合戦の屋島、壇ノ浦の那須与一、扇の的を唄った地唄に合わせて、たすきがけで方形に並び、手を差し上げるもので、手の動きや足のさばきの特徴のある素朴な踊りです。

昭和34年現天皇陛下、ご成婚の御祝いで国中が慶びに沸いている、春爛漫の桜の木の下で、地元で催す花見の最中、ほろ酔い気分に乗って、「わたしの青年の頃には、豊作を願い、収穫を喜んで、よく踊ったものじゃ」と云う、村の古老連の話がきっかけとなり、歌って、踊って見せてくれたのが始まりで、この踊りを受け継いで伝えていこうと、当時すでに80歳近い年寄り達に

習ったものでした。

習う頃には20歳～40歳代の若者も、今では亡くなった方、高齢の為止めた人と、1/3に満たない人数に減ってきましたが、幸いに次々と若い世代に受け継がれて、その後途絶える事もなく伝承されて、現代に至っています。

今は「秋山さし踊り保存会」として、高知市より市指定無形民俗文化財に指定され秋山地区の公民館活動の一環として練習を行っております。町の文化祭を始め、諸施設の慰問や敬老会等、楽しみながら、途絶えがちな老人と若者の交流、また市・町民のコミュニケーションの場として、大いに役立っており、「さし踊り保存会」として、絶やす事無く、この郷土芸能を受け継いで行きたいと思っております。

